

なごう

# 議会だより

1月  
2020 vol.158

補正予算	2~3
各常任委員会	4~6
予算特別委員会	7
一般質問	8~11

ホームページは  
こちらから



南陽市議会

検索



# 新年のごあいさつ



南陽市議会議長

高橋 弘



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、令和最初の新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は全国的に災害の多い年でありました。県内においても、地震や相次ぐ台風により各地で大きな被害が発生しました。議会といたしましても、市当局とさらに連携を強め、引き続き市民の安全・安心を確保する防災対策に取り組んで参る所存であります。

また昨年は、議会内に特別委員会を設置し、議員定数・議員報酬・地域の声が反映できる体制などの調査研究を行って参りました。この間の市民の皆様の市議会に対する関心の高さに感謝申し上げます。

今後とも皆様の負託に応えるべく、市議会運営に努めて参ります。

今年待ちに待った東京2020オリンピックピク・パラリンピックが開催され、本市もホストタウンとして、バルバドス国選手団のオリンピックに臨む事前キャンプが予定されております。国際的なスポーツの祭典に関わる事業となりますので、市民の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。そして、このスポーツの祭典の大きな力で、世界の平和と国際理解が一層強まることを願うものであります。

結びになりますが、市民の皆様にとりまして、素晴らしい一年になりますようご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。



## ふるさと納税5億4千万円 漆山学童施設整備費等を補正

### 12月 定例会

12月定例会は、12月3日～20日までの18日間で開催し、次の議案等を審議した。

特に、今回の補正予算では、ふるさと納税寄附金増額等に伴う歳入・歳出や、漆山学童施設整備等を主な内容とし、2億6千2百万円を補正した。

#### 承認2件

- ① 台風19号災害対応の一般会計専決処分。
- ② 台風19号災害対応の下水道事業会計専決処分。

#### 同意1件

任期満了に伴う漆山財産区管理委員7名の選任。

#### その他6件

健康長寿センター・デイサービスセンターなど6施設の指定管理者を指定。

#### 補正予算2件

一般会計、国民健康保険特別会計の補正。計11件すべてを、承認、同意、可決した。一般質問は、7名の議員が2日間にわたり当局の考えを質した。

最終日に、追加議案として上程された条例改正案2件と、それに伴う補正予算5件については全員異議なく可決した。

## 学童保育施設整備事業費

# 533万円

### ◎施設改修工事、備品購入費

来年度の漆山学童保育施設の利用希望児童数が施設の定員を大きく上回ることから、漆山小学校の空き教室を利用し、学童保育施設を分割するための整備を行うもの。



現在の漆山学童

## その他の主な補正

☆マイナンバーカード推進事業費	71万円
☆市議会議員選挙費	100万円
☆社会福祉総務一般事業費 (水道料、福祉バス運行委託料)	67万円
☆重度心身障がい(児)者医療給付費	840万円
☆置広事務組合負担金(やすらぎ荘)	▲288万円
☆国民健康保険特別会計繰出金	781万円
☆健康管理システム改修委託料	214万円
☆置広事務組合負担金 (千代田クリーンセンター)	204万円
☆置広事務組合負担金 (南陽クリーンセンター)	▲491万円
☆道路橋梁維持補修事業費 (車両購入費)	▲2,100万円
☆道路新設改良事業費 (交付金事業・蒲生田関口線)	▲3,000万円
☆置広事務組合負担金(消防広域化)	▲550万円
☆消防施設整備事業費(施設解体撤去)	171万円
☆小学校一般管理費(電気・施設修繕料)	448万円
☆中学校一般管理費(電気・施設修繕料)	260万円
☆農地農業用施設等復旧補助金	184万円

元年度12月定例会  
一般会計補正予算

# 2億6,291万円

補正後総額

# 159億5千万円

## ふるさと納税事業費/地域振興基金積立金

# 2億4,000万円

ふるさと納税寄附額は当初3億円を見込んでいたが、2億4千万円の増額が見込めるため、お礼の品やその送料、寄附受付サイト手数料などに係る経費を増額補正し、経費分を差し引いた残りの額を地域振興基金積立金に積み立てるもの。

## 臨時地方道整備事業費

# 1,000万円

市道烏帽子山公園線と一般県道赤湯宮内線との見通しの悪い交差箇所について、隅切部分の改良工事を実施することにより、視認性の向上を図り、出会いがしらの事故防止と歩行者の安全対策に努めるもの。



見通しの悪い烏帽子山公園入り口交差点

## 持続的生産強化対策事業費補助金 (台風被害による、稲わら処分)

# 2,500万円

農林水産省の補助事業を活用し、台風19号で「ほ場」等の浸水被害を受けた農業者や農業団体等に対して、稲わらを撤去する際に掛かる経費の一部を補助するもの。

## 議案採決結果表

議案番号	議 案 名	採決結果
承第 1号	令和元年度一般会計補正予算（第4号）についての専決処分の承認を求めることについて（一般会計 台風19号の被害に係る災害救助事業費補正の専決処分の承認）	承認
承第 2号	令和元年度下水道事業会計補正予算（第2号）についての専決処分の承認を求めることについて（下水道事業会計 台風19号の被害に係る大橋地区農業集落排水施設復旧費用補正の専決処分の承認）	承認
同意第9号	漆山財産区管理委員の選任について	同意
議第 90号	令和元年度一般会計補正予算（第5号）	可決
議第 91号	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議第 92号	健康長寿センター・デイサービスセンターの指定管理者の指定について 指定管理者：社会福祉法人南陽市社会福祉協議会	可決
議第 93号	老人いこいの家の指定管理者の指定について 指定管理者：社会福祉法人南陽市社会福祉協議会	可決
議第 94号	漆山学童保育施設の指定管理者の指定について 指定管理者：社会福祉法人双葉会	可決
議第 95号	勤労者総合福祉センターの指定管理者の指定について 指定管理者：株式会社エービーエム	可決
議第 96号	赤湯温泉観光センターの指定管理者の指定について 指定管理者：赤湯温泉旅館協同組合	可決
議第 97号	南陽スカイパークの指定管理者の指定について 指定管理者：南陽市スカイレジャー振興協議会	可決
議第 98号	令和元年度一般会計補正予算（第6号）	可決
議第 99号	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議第100号	令和元年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議第101号	令和元年度水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議第102号	令和元年度下水道事業会計補正予算（第3号）	可決
議第103号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議第104号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決

## 給与、期末手当等を改正



### 審査報告

付託議案2件

次の2件とも、8月の人事院勧告及び10月の山形県人事委員会勧告に基づき、必要な措置を講じるための一部改正を行うもの。

また、勧告内容を考慮し、住居手当支給状況等を踏まえた見直しを行うもの。

◆特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

○期末手当支給月数等の改正  
支給月数を年0.05月分引上げ、年3.30月とするもの。

◆一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

○給料表の改定  
初任給を1500円

引上げるなど、20歳代までの若年層に多く、その他は少なく改定するもので、平均改定率は0.07%。

○勤勉手当支給月数等の改定  
勤勉手当を0.05月引上げ、期末手当と合わせ、年4.40月とするもの。

○住居手当の見直し  
支給対象となる家賃を20000円引上げ、1万40000円からとするもの。

また、この原資を用い、支給手当額の上限を10000円引上げ、2万80000円までとするもの。

審査の結果、全員異議なく可決した。  
(委員長 山口 正雄)

# 文教厚生 常任委員会

## 審査報告

付託議案3件

◆健康長寿センター・  
デイサービスセンター  
の指定管理者の指定



健康長寿センター

◆老人いこいの家の指  
定管理者の指定



老人いこいの家

いずれもこれまでど  
おり社会福祉法人南陽  
市社会福祉協議会に指  
定した。  
なお、老人いこいの  
家については、新公衆

浴場の整備状況によっ  
て、指定管理期間を再  
度検討していくことと  
された。

◆漆山学童保育施設の  
指定管理者の指定



漆山学童保育

当局より、社会福祉法  
人双葉会は、長年にわた  
る実績と経験に基づき、  
今後とも安心して健全な  
学童保育施設の運営が  
期待できることから、  
公募によらず選定した  
との説明を受けた。  
審査の結果、全員異  
議なく可決した。指定  
期間は2年4月1日～  
5年3月31日までの3  
年間。

## 管内視察報告

10月31日

◆中川小学校  
小さいけれどキラリと  
輝く複式学級

全校生徒数36名。校  
長より教育基本方針、  
学校運営について説明  
があった。学校像とし  
て「小さいけれどキラ  
リと輝く学校」を目指  
す。3・4年と5・6  
年が複式学級を実施し  
ている。説明後、授業  
の様子を見学した。そ  
こには生き生きとして  
授業に取り組む姿が  
あった。



中川小の複式学級授業の様子

◆長岡南森遺跡  
四世紀後半の古墳か？  
遺跡は稲荷森古墳  
(国指定)から、南東へ  
約130mの距離にある。  
平成28年度測量調査に  
よって前方後円墳であ  
る可能性があるため、  
確認調査中。調査期間  
は平成30年～令和4年と  
している。今回の調査で  
くびれ部や丘陵のテラ  
ス(平な部分)が確認  
された。また、古墳時代  
の祭祀に関する土器が  
数多く出土した。長さ  
は南北161m。これは東  
北第2位の大きさ。今  
後の更なる調査結果が  
期待される。



長岡南森遺跡

◆赤湯中学校テニス  
コート  
人工芝張り3面完成  
旧赤湯小学校跡地に、  
6月より工事が進めら  
れていたテニスコート  
整備工事が、9月25日  
に完成した。コートは  
人工芝張りの3面。そ  
の他夜間照明やトイレ、  
備品倉庫棟も設置され  
た。

今までは、水はけが  
悪く利用できなかった  
が、今後は整備された  
テニスコートで、存分  
に部活動に打ち込める  
だろう。



赤湯中テニスコート

(委員長 片平 志朗)

# 産業建設 常任委員会

## 赤湯温泉観光センター等の 3施設を指定

### 審査報告

付託議案3件

◆**勤労者総合福祉センター(ワトワセンター)の指定管理者の指定**

株式会社エービーエムを指定するもの。



ワトワセンター

◆**南陽スカイパークの指定管理者の指定**

南陽市スカイレジャー振興協議会を指定するもの。

審査の結果、全員異議なく可決した。指定期間は、2年4月1日～5年3月31日までの3年間。



スカイパーク

### 管内視察報告

10月21日

◆**日本オイルポンプ(株) 山形工場**

南陽西工業団地内に従業員約80人。

国内に2カ所の工場、事務所、営業所他



工場内説明

海外拠点は上海・ドイツ・台湾・インドと4カ所ある。主力製品のトロコイドポンプは、国内工作機械業界シェア約7割。製造実績日本第一位とのこと。工作機械、風力発電、自動販売機浄水機など多岐にわたる製品を供給している。当日は4班に分かれ場内を案内いただき、各種製品の説明や作業ロボットの動きに驚きながら、見学を行った。世界に誇れる企業が市内にあることに敬意を払いたい。

◆**南陽市公共下水道汚水管渠工事第6工区**

旧国道13号(赤湯緑町地内)に係る管路延長77.1mの内、開削工事延長59.5m、推進工事延長9.8m、他マンホール2基、汚水柵1箇所など工事内容の説明を受けた。

施工箇所は県道交差点に近く、交通量も多いため、施工上制約のある中、作業をされていた。特に安全第一で早期完成をお願いしたい。

◆**新潟山形南部連絡道路・国道113号梨郷道路整備事業**

施工延長7.2kmで、将来的に赤湯バイパスから延びてくる梨郷道路が113号と重なるため一旦切り替え、県道と併せて作業中。

最上川を横断する橋の下部工も終わり、上

部工も発注済みで、工場製作中。総合病院の南側にはインターチェンジを設置予定。梨郷道路全般にわたり地盤が軟弱で、部分的に地盤改良しながら施工しているとのこと。なお、工事完成は未定だが、最低3年はかかるとの説明だった。



現地説明

(委員長 白鳥 雅巳)

# 補正予算 Q&A



## 低所得者の介護施設 利用料負担軽減を

佐藤 明 議員

◎3年に一度の制度改正で、低所得者が介護サービスを利用した際、食糧費などが月額2万2千円の大増値上げになる。  
消費税は社会保障目的のはずだ。このままだと、改正ごとに同じ問題が再発する。制度を元に戻すべきだ。

〈市長〉現時点では情報が少なすぎて明確な答弁は困難だが、低所得者への配慮は必要だと認識している。

今後は、高所得者の

方に負担増をお願いし高齢化社会に対応する方向で考えていく。

◎問題はこれだけではない。どのような点で改善するのか。

〈福祉課長〉今後、財務省主導で社会保障費の減額が見込まれるため、注視していく。

◎今から負担増にならないように備えるべき。

〈市長〉地方の実情を鑑み、その声を中央に届けることは市長会の役割だ。今後も継続して訴えていく。



## インフルエンザ

### 予防接種の補助

山口 裕昭 議員



◎近隣の自治体と比べ補助が少ない。

〈市長〉実施した場合の予算規模を考えれば困難な問題だが、近隣自治体の状況も確認し、今後のあるべき姿を考えていきたい。

◎受験を考慮して中学3年生に補助を行っていいことは理解できるが、一つの学年だけ予防しても、同じ校舎内でインフルエンザが蔓延しては効果が薄い。拡充を要望する。

## 農林業センサス事業

船山 利美 議員



◎調査員の報酬が減額されているがなぜか。〈みらい戦略課長〉当初

予算では計上しているが、調査員の人数が増減があり今回調整した。◎正確な調査のために調査員はある程度必要だ。増員を要望する。



## 児童生徒の安全確保

山口 正雄 議員

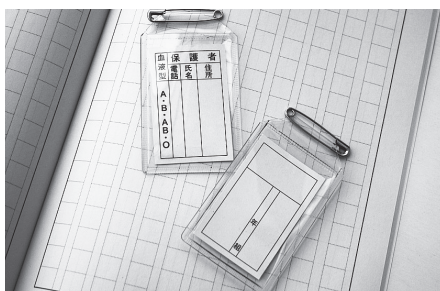


◎児童生徒は名札を付けているが、最近の声かけ事例の増加を考えれば、個人情報保護の観点でどう考えるか。

〈学校教育課長〉校外での活動を行う場合は名札を外す動きも増えている。校内で名札を付けることは是非についても、今後検討していく。◎危険な状況に陥った時、児童生徒が対応できるように「大声を出す訓練」や「防犯ブザーの点検」などの備えが必要ではないか。

〈学校教育課長〉万が一への備えは必要だ。防

犯ブザーの点検は各家庭へ啓発して行く。大声を出す訓練についても出来るだけ考えていきたい。  
◎見知らぬ人が必要以上近づいてきた場合には、まず逃げる事が必要だ。  
危険が迫った際の具体的な逃げ方なども併せて、子どもたちに指導をお願いしたい。



# 「ごまを切り裂く！」一般質問

市政全般にわたり、議員が市の考えを質するのが一般質問です。一人50分の持ち時間で、「壇上質問↓市長・教育長の答弁↓再質問」を行います。

12月定例会では7人の議員が登壇し、市政を質しました。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問と答弁の要旨のみをお伝えしています。全文記録（会議録）は、2月末に市ホームページに掲載予定です。市ホームページでは、現在、9月定例会までの会議録をご覧いただけます。

## 一般質問 目次

質問項目		質問者	ページ
まちづくり	令和2年度予算編成について	島津善衛門	9
	スマートインター誘致について	白鳥 雅巳	10
	来年度予算編成と重要施策について	佐藤 明	11
くらし	豪雨災害への対処・対策、及び防災関係について	船山 利美	8
	災害対応について	山口 裕昭	9
	地域防災について	板垣致江子	11
福祉	老々介護の実態について	山口 裕昭	9
	国民健康保険税について	佐藤 明	11
産業	森林の保全と利活用について	島津善衛門	9
	ハイジアパークの経営について	山口 正雄	10
子育て・教育	教育現場の状況と地域社会の役割について	船山 利美	8
	教育について	板垣致江子	11
	赤湯中学校グラウンド整備工事業について	白鳥 雅巳	10



船山 利美 議員

## ●災害への対応は

## それでよいか

◎3月から「避難勧告等に関するガイドラインの改定」で5段階警戒レベルの運用が始まったが「警戒レベル4」の住民のとるべき行動とはどういふものか。

《総合防災課長》「自らの命は自らが守る」という避難行動の周知となっており、指定避難所等への立ち退き避難をするという行動で、緊急の場合は垂直避難等も促す。

《建設課長》県においても調査はしている。和田地区は県の治山事業で2箇所、砂防ダムが設置された。残る1箇所も昨年から現場確認をしている。今後要望はしていく。

◎10月の台風19号による豪雨で市内全域に警戒レベル4の避難勧告が発令されたが、避難者数450名のみというのには大きな課題ではないか。「正常性バイアス」による思い込みで避難

《市長》「正常性バイアス」は必ず働くということである。本市も26年の豪雨災害があり、避難行動をとる必要性は他地域以上にあり、避難訓練などもしている。今後啓発に努めていく。

◎浸水による堆積物5の農水省補助事業は3月16日までとなっている。雪で作業が出来ない場合、延長の可能性はあるのか。また、確認する方法は。

◎各地区に配布されているハザードマップに土砂災害警戒区域が示されているが、特に和田地区は砂系土質で2箇所、砂防ダムが設置されており、もう1箇所必要との住民の声がある。把握して

《農林課長》期間延長については農水省からの指導等もあるので注視している。確認は容積での判断だが、濡れたものと乾燥したものの区別はしない。

《建設課長》県においても調査はしている。和田地区は県の治山事業で2箇所、砂防ダムが設置された。残る1箇所も昨年から現場確認をしている。今後要望はしていく。

※ 正常性バイアス…災害が予想される状況下であっても、正常の範囲内としてとらえ、「今回は大丈夫」「まだ大丈夫」などと過小評価して、逃げ遅れの原因となる心理学用語。





山口 裕昭 議員

## ● 市内の防災対策 ● 老々介護の実態

◎一昨年、吉野川の改修による下流域の水位上昇の危険性に問題はないとの答弁だった。

台風19号被害では水位はどうだったのか。

《市長》今回の台風では市内の累加雨量が25・26年の水害時と比較して少なかった一方、福島・宮城の両県境に雨が集中したことから、最上川源流からの流量が増大し下田橋水位観測所で18mを超える水位を記録。これは羽越水害を超える観測史上第一位の水位だった。

◎上無川の内水氾濫がまた発生している。

《市長》上無川と最上川の合流地点付近の未改修区間は大部分が農地のため農林補助による

湛水被害対策も選択肢となるが、受益地がほぼ川西町の飛び地のため早期実施は困難だ。

このため、県に対して流下能力向上対策を引き続き要望していく。

◎避難所で緩衝材などの床に敷くものが不足していた。また、避難所の防災備蓄は充分か。

《市長》現在は緩衝材の備蓄は行っていない。今後避難者が少しでも過ごしやすいように環境整備を進める。

防災備蓄は計画的備

蓄を進めてはいるが、各施設に十分な備蓄は困難だ。今後は、避難時に必要なものを持参を啓発していきたい。

◎老々介護の実態は。

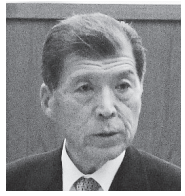
《市長》要介護認定を受けた高齢者世帯は1千世帯を超えている。

◎老々介護世帯に対する市の対応は。

《市長》民生委員が年間延べ7千回の見守り訪問を行っている。また、27年度から地区割り

2つの地域包括センターを設置し、相談体制の充実と援助を行っており、今後もその充実

◎困窮世帯は多い。市が能動的に対応をすることを要望する。



島津善衛門 議員

## ● 新時代の予算編成 ● 森林の保全と利活用

◎持続可能で活力あふれる新時代の課題への挑戦は。

《市長》最近では、人工知能の活用が始まり日常生活を便利にしている。

行政の現場や市民生活に柔軟に活用を進める

ことが人口減少社会における社会基盤の持続には必要不可欠である。

様々な産業分野でも将来を見据えた導入が進むことを期待する。今後、民間企業との実証実験等を実施しながら、着実に取り組みを進める。

◎事業の重点化と財政健全性の堅持は。

《市長》現在、30年度からの3年間を取り組み期間とする「南陽市行政経営指針」により、

効率的・効果的な財政運営に努めている。財源についても、

確保や、国、県の動向を注視し、適切な受益者負担の導入などに積極的に取り組む。

市債は、住民への安定的な行政サービスの提供に大きく役立つ。残高は大きく減少しているが、

詳細な分析を行いながら、本市の現状を正確に把握し、適正な発行額となるよう努める。

◎森林の保全と利活用は喫緊の課題。

《市長》森林面積は9613haで市の総面積の59.9%。主伐期となる50年以上の人工林が2670haで66.8%を占め、木材として活用できる

適齢期を迎えている。植栽・保育・間伐等の森林の経営や管理が適切に行われていない森林が、増加傾向にある。

森林整備計画で、適正な森林施業が行われ、森林の有する多面的機能が発揮される森林を「望ましい森林」の姿と定めている。

「持続的かつ、健全な発展に繋がる林業の成長産業化」と「森林の有する多面的機能の適切な管理」の両立を図る森林経営管理法や、

必要な財源とする森林環境譲与税も創設されたので、本市の現状に即した制度全体の進め方を検討する。

こんな議案を審議しました

委員会のついで

鋭く迫る！一般質問

その他



白鳥 雅巳 議員

## ●赤中グラウンド 整備遅れの原因は

◎設計書に特記事項として「土壌汚染対策法に伴う届出」の記載を  
しなかったのか。また、  
整備工事が34日間で中止  
になった原因は。

《市長》工事着手の初日に、本事業を新聞報道で見た県の担当課・担当者より届出について指摘、指導があり、その時点で認識をした。認識不足により設計書への記載はなかった。  
◎グラウンドとテニスコートの工事施工において、僅か3ヶ月の工期設定は適正だったか。  
《市長》学校教育への支障となる工事期間を出来る限り短くすること、また、消費税率の改正を考慮し設定した。し

かし「土壌汚染対策法の届出」に係る所要の

日数30日分を見込み、9月中の工事完成は断念し10月以降にすべきだった。手続き不備で完成が遅れたことに生徒、保護者、地域の方々に改めてお詫びする。  
◎この結果をどのよう  
に受け止め、今後に向けての対応は。

《市長》本工事については必要な手続きを怠り、工期の変更となった。業務の適正な執行については、定例課長会等で注意喚起をしているが、今後も内部統制を進め、多様化する行政組織体制を全職員で共通認識を持つて取り組んでいく。

◎南陽スマートIC誘致の状況は。

《市長》本年はアクセスルートを検討中で、JR東日本から、踏切の立体交差による問題提起がされ、7月に立体交差の可否検討に必要な図面作成等の業務委託を実施し、協議を進めている。

◎南陽スマートICの費用対効果は。  
《市長》費用負担は一定程度必要だが、早期設置を望む声も多く、事業費以上に地域産業の活性化、観光、交流振興等の整備効果もあり、設置実現に向けて取り組んでいく。



山口 正雄 議員

## ●ハイジアパーク 財政と経営改善見極めて

◎ハイジアパーク南陽の実質的な業績改善の見通しと経営改善の主な内容は。

《市長》第2四半期の状況は、入館者数、売上高ともに伸びたが、燃料費、電力料等の増で、営業利益は前年と同程度。今後も、営業を強化し経営改善を図っていく。

◎施設老朽化の対応は。  
《市長》緊急性や必要性から優先順位を決定し、修繕や交換などで対応する。全体の修繕、更新計画を検討するため、施設状況調査をしており、その結果を有識者会議で議論していた。投資と経営改善のバラ

ンスを見極めながら、有識者会議の答申を参考に対応していく。

◎有識者会議の目的、答申時期は。

《市長》ハイジアパーク南陽の経営についてだけでなく、市の公の施設としての存廃も含めた方向性の意見を頂くべく諮問した。答申は12月の予定。

◎有識者会議の答申を、どう受け止めるのか。  
《市長》真剣に受け止めなければならぬ。  
◎有識者会議の答申は、市長判断に影響を与えられるもの。議事録を公開すべきと思うが。  
《市長》できる範囲で公開を考えたい。

◎有識者会議の目的、答申時期は。  
《市長》ハイジアパーク南陽の経営についてだけでなく、市の公の施設としての存廃も含めた方向性の意見を頂くべく諮問した。答申は12月の予定。

◎抜本的な改革手法の判断基準とは。  
《市長》採算性の有無が重要な判断基準となるが、シニアカフェ事業、指定避難所の指定など、採算性だけでは図れない役割も十分考慮しなければならぬ。

◎市長がどんな判断を  
されようが、市民が納得できる説明が必要だ。  
《市長》説明責任をしっかりと果たしていきたい。



佐藤 明 議員

## ● 地方自治体の使命は 住民生活を守る防波堤の役割を

◎ 予算編成にあたり、基本姿勢と重点施策は。

《市長》3年ごとに改定しながら策定している「市行政経営指針」に基づき、行財政改革を推し進め、引き続き市民生活に直結する事業を優先して取り組んでいく。重点施策についてはこれまで行った事業を総括し一つ一つの目標についての効果を検証しながら、基本構想基本計画を実現すべく事業を進める。特に本年10月に開始された幼保無償化の新年度における円滑な実施、3人つ子政策及び放課後子ども総合プランの推進、保育施設及び障がい者施設の整備支援、

ホストタウン推進事業に力を注いでいく。

◎ 9月26日～11月22日まで、市内15箇所です「市長とみらいトーク」が開催され多くの市民が参加された。提案された要望や意見は貴重なものだが、今後の市政運営・予算編成にどう反映させるのか。

る制度上の減免のみを行っている。これについては、加入者全てが受益者となることから

◎ 子どもの国民健康保険均等割り減額の考えは。《市長》本市では災害の場合や低所得者に対する



板垣致江子 議員

## ● 女性の視点からの地域防災 ● 文化会館での芸術鑑賞を

◎ 今年も全国各地で大変な災害が起き、多くの人が被災された。本市でも台風19号で10月12日から13日にかけて450人の方が避難された。

《市長》防災対策を進めるうえで、女性の役割

は非常に大きく重要。避難所は被災された方を支えるためのものだ

◎ 子どもたちのいじめや児童虐待被害は過去最多だった。子どもたちの未来が心配。対応は。

校も「未然防止」「早期発見」「早期対応」に組織的に対応し指導する。

《教育長》中学校は文化庁の巡回公演などの採択で毎年鑑賞。小学校の鑑賞には色々な課題もある。校長会等と連携・調整を図りながら、国や県の事業を活用し、質の高い芸術・文化を鑑賞できるよう努める。

# 広域 議会報告

## 置賜広域病院 企業団

11月1日、南陽市議

会議場で11月定例会を  
開催し、30年度決算及  
び補正予算を全会一致  
で可決した。

主な内容は次の通り。

費用の増加や入院患者数が減少したものの、診療単価が増加したことで、3.8%の増収となり、昨年に続き黒字決算となった。

### ◆補正予算

30年度の決算に伴う構成団体負担金を精算するための補正。

### 行政視察報告

11月5～6日

大崎市民病院(大崎市)

置賜総合病院と同規模で、宮城県北部地域の基幹病院の役割を果たしており、地域完結型医療を目指している。病院経営指標比較では、入院、外来の平均診療単価が高く、医療収支比率も高い。この理由は、手術件数、CT件数の多さが関係しているとのこと。



大崎市民病院

### 栗石町健康センター

内科一般を診療科目とする病床19床の「栗石診療所」子供や高齢者が集える「つどいの広場」健康教育、相談各種検診等を兼ね備えた「保健センター」と、町の「健康推進課」が同居する施設。受診に訪れる人、親子の遊ぶ姿の中で健康推進課の業務が行われていることは、医療機関・保健福祉分野と町役場の連携が際立って見えた。

(置病議員 山口正雄)

## 置賜広域行政 事務組合議会

11月28日、米沢市議

会棟で定例会を開催。提案された議案は、報告1件、承認案3件、議案5件の計9件で、原案のとおり可決。

### ◎専決処分事件の報告

物損事故に基づき生じた損害賠償の額が決定したものを。

### ◎30年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算

◎30年度ふるさと市町村圏事業費特別会計歳入歳出決算

◎30年度消防特別会計歳入歳出決算

◎職員の分限の事由並びに手続及び効果に関する条例等の一部改正

◎公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の設定

◎火災予防条例の一部改正

(置廣議員 白鳥雅巳)

◎令和元年度置賜広域行政事務組合一般会計補正予算

◎令和元年度置賜広域行政事務組合消防特別会計補正予算

その他500万円以上の契約状況報告(総件数20件)

### 主な契約

◆千代田クリーンセンター蒸気タービン発電機緊急修理 1億600万円

◆千代田クリーンセンター償却設備及びボイラータービン設備定期整備 1億8920万円

◆長井クリーンセンター粗大ごみ処理施設修繕工事 9185万円

## 置賜二市一町議会 議員親善交流会

10月3日、夕鶴の里

において開催された。語り部の方から本市の題材を始めとした珍しい民話を数点ご披露いただき、参加者はその話術に真剣な表情で聞き入っていた。

本市以外ではそれぞれ昨年議員の改選が行われ、顔ぶれが多少変わっていたが、以前より顔見知りの議員とは旧交を温め、新たに参加された議員とは挨拶を交わすなど、終始大変和やかで貴重な交流の場となった。

今後の置賜地域の連携にとって非常に有意義な交流会だった。

(山口 裕昭)

### ◆企業団全体の決算概要

○入院患者数	約17万1千人(前年比約8千人減)
○外来患者数	約33万4千人( " 251人増)
○収支状況	
総収益	166億4千万円
総費用	161億5千万円
総差引	4億9千万円の黒字

## 議会運営委員会 行政視察報告

10月8日～10日

### ◆福岡県宮若市議会

#### 「議会運営ICT化と イントラネットワーク の取り組み」

導入に向けて様々な研修や視察を行い、タブレット端末の基本ソフト（OS）は多くの自治体が導入しているものと同じアンドロイドのサイドボックス、通信はWiFiではなくLTEモデル（電波状況が安定してい



宮若市議会

る）ということ。また、ペーパーレスにはあまりこだわらず、紙ペーパーの予算書、決算書は作っているとのこと。

議会ICT化については全国的に普及が著しく、近隣自治体でも徐々に現実化傾向にある。本市としてもこれまで全議員対象の講習会を実施したが、当委員会としても行政視察等を重ねながら将来を見据え、より円滑な導入に向けた取り組みが必要と思う。

### ◆山口県

#### 山陽小野田市議会

#### 「議会改革の取り組み」

2018年度議会改革度ランキングで全国1447議会中22位。特に議会改革の進んだ要因としては特別委員会設置から2年余りの間に52回の審議を重ねた「議会基本条例」の

制定と実践にあるとのこと。

条例制定によって情報公開が進み、市民参加の機会が増えた。本会議、各委員会はYouTubeでも公開しており、「議会報告会を「議会カフェ」として、お茶を飲みながらざくばらんに意見交換するというもの。その他、様々な改革を実践しており、今後の本市議会にも役立たせていきたいと思う。

（委員長 船山 利美）



山陽小野田市議会

## 議会報編集委員会 行政視察報告

10月17日

### 岩手県軽米町議会

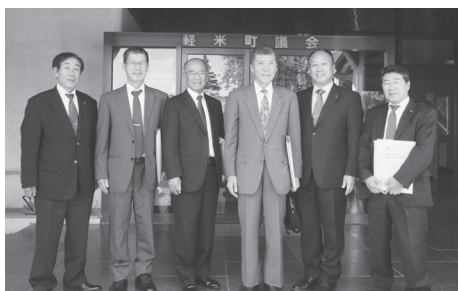
軽米町は岩手県北端部に位置し、青森県と隣接する人口1万人弱の町で、北上山地北端部の自然豊かな丘陵地に囲まれた、農林畜産業が盛んな町。

識した編集を心がけていた。また、町外から移り住んだ方から感想や提言をいただき、記事も優先的に掲載されていた。当委員会でも、今後「議会と市民のキャッチボール」の出来る紙面づくりが必要と感じた。

29年度の町村議会広報全国コンクールでは、編集・デザイン部門奨励賞を受賞、岩手県町村議会広報コンクールでも2位入賞するなど近年実績を上げている。

#### 編集方針は

- 読む前に見てわかりやすい紙面
- 空白のスペースの有効利用
- 立体感の重視
- 町民の関心事を特集記事に企画する
- 住民の登場機会を意



## 県市議会議長会 議会報研修会

11月11日、東根市を

会場に、山形新聞東根支社長小林氏を講師に迎え「読んでもらえる議会報づくり」を演題に、県内13市の議会報編集委員約100名の参加で開催された。

- わかりやすい記事の書き方
- 見出しの付け方
- 写真の取り方
- 大事なことを優先

「逆三角形の原則」など、ポイントごとの詳細な説明と、各市議会の議会報をチェックしての指導を受けた。このような研修等を受けながら紙面を改善しています。ご意見をお寄せください。  
（島津善衛門）

# 衆知×協働＝希望

宮内 竹田 芳明

や楽しい事も増えていったらもっと面白くなる。結果、住む人が少しずつまちに誇りと愛着を持つ。

そして「俺のまち、好いまちだよ」と熱く口々に発信してくれるはずだ。にわか評判を立てるより、暮らしやすくエキサイトなまちになる事が人口減少を食い止めると信じている。

今、約3万1千人が暮らし、暮らしが25年後の2045年に2万2千人の推計あり。大雑把に3割減るといふ事だ。この流れを引かずれば（今まで通り、努力して）予想通り、あきらめムードで何もなかったら推計以上に減少すると覚悟しよう。傾向と対策は、至極簡単。まず、逃げ出さないように安全安心な暮らし向きを保証する。また、新しい変化

とここで私は今、宮内地区長会の支援を受けながら、公募で集まった仲間とこれからのまちづくりの知恵を絞っている。お題は、築後60年となる宮内公民館建替えである。右肩上がりの時代なら、あれもこれも出来るよ

う少し豪華に大きくも文句も出なかつただろう。競って大きな箱を造ることが勲章だった時代。今は更新建替えなども「緊急な対処箇所から最小費用で」がスローガンでダウンサイジングが相場である。このような環境下でも、あえて暮しやすくエキサイトなまちにしなければと思いつめている。優れた作品展示可能なギャラリー。宮内にゆかりの吉野コレクション美術館。作り味を与えるキッチンスタジオ。デジタル図書館。まちの記憶を止めるデジタルアーカイブ。祭りを継承する工夫など、アイデアが溢れ出した。11月7日「市長とみらいトーク」の席上では、市長から検討への予算計上の言明も頂戴した。3月の最終報

告に向け議論は続きます。視点は①人口減②関係又は交流人口増③次世代である。視線の先は、宮内から市内外の人も集える拠点。共に語りませんか。



## 表紙の写真

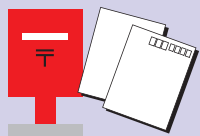
令和初の新年を迎え、5日午前赤湯地区において、多くの市民が見守る中、消防出初式が行われた。花見町古堤において市長による観閲、祝賀放水、その後、赤湯公民館前では行列行進、はしご乗りが行われた。

表紙写真は、鶴と亀が舞い遊ぶ新年にふさわしい技である。その後、はしごの上から餅まきを行い市民の安全、安心を誓い合った。  
(編集委員 田中 貞一)

## ご理解ください

南陽市議会議員一同は、政治倫理の確立を期するため、年賀状などの時候の挨拶状（答礼のため自筆によるものを除く）、諸行事、会合での一切の寄付などは行っていません。

市民のみなさんのご理解とご協力をお願いいたします。



公職選挙法の規定を守り、虚礼廃止を申し合せています。

## 編集後記

あけましておめでとうございます。

新時代の幕開けに胸躍る5月を経て、ラグビーに沸き立つ秋、全国に甚大な被害をもたらした台風被害など、令和の御代かわりの年は激動の1年でした。

地球温暖化による異常気象が常態化する中、これを「対岸の火事」とせず、今後の備えを進める事が大切です。

今年は、東京オリンピックが開催されます。大会の歓声と熱気が、災害と猛暑を吹き飛ばす事をご祈念致します。

- (山口 裕昭)
- 委員長 島津善衛門
  - 副委員長 山口 裕昭
  - 委員 山口 正雄
  - 白鳥 雅巳
  - 片平 志朗
  - 田中 貞一